

教科・「科目」	地歴・「地理A」	単位数	学習形態	学年	履修学科、必修・選択の別等
		2	座学・演習	3	全学科必修履修科目

1. 目標と評価規準

目標	現代世界の地理的な諸課題を地域性を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。	
評価の観点と比重	評価規準	評価の方法
関心・意欲・態度 (10%程度)	学期ごとにおける授業の出席状況や授業内容に関心を持ち、授業態度に意欲等が感じられる。	学習状況等
思考・判断・表現 (15%程度)	授業中に実施する発表や作業中の考察を積極的に行っている。	学習状況 発表内容等
資料活用の技能 (25%程度)	資料を活用しながら、学期ごとに行うノートの提出や、長期休業中の課題の提出、授業中の課題プリント等をしっかり行い、内容がともなっているか。それを活かし、定期考査等の点数をしっかりとれている。	ノート プリント 定期考査等
知識・理解 (50%程度)	授業の内容を理解し、知識として学期ごとの定期考査等の点数をしっかりとれている。	定期考査等
使用教材等	帝国書院『高等学校 新地理A』 帝国書院『帝国書院編集部編 新詳高等地図』 啓隆社『地理 演習ノート』	

2. 年間指導計画

学期	月	単元・教材名	主な学習内容	ICT利活用
1 学期	4	地球上の位置と国家	生活の舞台としての地球に対する関心を高め、世界の地域構成を緯度と経度、時差、水陸の分布をもとにさまざまな角度から考察する。	写真や動画・図を利用
	5	グローバル化が進む世界・生活に与える環境条件とは・人々の生活と地形	世界中の国から国への移動例を多角的に考察する。地球儀や世界地図を利用し、国家の様子を理解する。世界の地形を理解し、人々の生活へどのような影響を与えているか考察する。	
	6	人々の生活と気候	地球のメカニズムを理解し、気候が世界の自然環境や人々の生活にどのように影響を与えるかを考察する。	
	7	人々の生活と産業・人々の生活と文化	世界の農業や工業、宗教等の違いを理解し、人々の生活へどのような影響を与えているか考察する。	
2 学期	9	アジアの生活・文化	世界の諸地域の地理的事象に関心を持ち、世界の諸地域の特色を調べ、明らかにする。調査事項を世界の諸地域の特徴として理解し、知識として身につける。	写真や動画・図を利用
	10	ヨーロッパの生活・文化・ロシアの生活・文化	世界の諸地域の地理的事象に関心を持ち、世界の諸地域の特色を調べ、明らかにする。調査事項を世界の諸地域の特徴として理解し、知識として身につける。	
	11	アメリカの生活・文化	世界の諸地域の地理的事象に関心を持ち、世界の諸地域の特色を調べ、明らかにする。調査事項を世界の諸地域の特徴として理解し、知識として身につける。	
	12	複雑にからみ合う地球的課題・世界の環境問題・世界の資源・エネルギー問題	地球的課題である環境問題や資源・エネルギー問題を意欲的に追求し、考察する。	
3 学期	1	世界の人口問題・世界の食糧問題・世界の都市・居住問題	地球的課題である人口問題・食糧問題・都市・居住問題を意欲的に追求し、考察する。	写真や動画・図を利用
	2	身近にあるさまざまな地図・日本の自然環境と防災・身近な地域の課題と地域調査	日本の自然環境と防災での深刻な課題を理解し、考察する。身近な地域の調査を行い、地域の課題を明らかにし考察する。	

備考	
----	--